

令和6年度 12 月 定例教育委員会会議録

令和6年12月17日(火)

山梨市教育委員会

令和6年度12月 定例教育委員会 議事録

令和6年12月17日(火)午前10時から、山梨市役所503会議室に召集された。

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 前回議事録の署名
- 4 協議事項
- 5 報告事項
- 6 連絡事項
- 7 閉会

○出席者

教育長	嶋崎 修
教育長職務代理人	天野 有紀
教育委員	窪田 新治
教育委員	鈴木 徹
教育委員	相沢 季里

○欠席者

教育委員	原 喜雄
------	------

○事務局職員出席者

学校教育課 課長	磯村 賢一
学校教育担当 教育監	小串 吾郎
学校教育担当 指導主事	内藤 健
学校総務担当 リーダー	大畠 芽久美
学校総務担当(議事録作成者)	小田切 咲紀
学校教育担当 リーダー	前嶋 裕樹
学校管理担当 リーダー	高原 あゆみ
生涯学習課 課長	武井 学
生涯学習担当 リーダー	廣瀬 ひろみ

4 協議事項

教育長

議事に入る。

今回事務局からの議題はないが、教育委員の皆様から何か議題としたいものはあるか。

教育委員

なし。

(2)その他

教育長

協議(2)その他だが、何か事務局の方であるか。

事務局

なし。

教育長

委員の皆さんからいかがか。

委員

なし。

5 報告事項

(1)令和7年度当初予算要求について

教育長

(1) 令和7年度当初予算要求について、学校教育課・生涯学習課の課長より説明をお願いします。

学校教育課・生涯学習課 課長

令和7年度当初予算要求について説明。

教育長

質問等あればお願いしたい。

鈴木委員

市民体育館のエアコンの課題はどうなったか。以前ミストという話も出ていた。

生涯学習課長

ミストについて実証実験を行ったが、思った以上の効果が得られなかったためミストの採用は見送りとなり、現在エアコン導入を検討している。

(山梨市情報公開条例第7条第5項に該当するため一部非公開)

(2) 12月議会について

教育長

(2) 12月議会について、学校教育課・生涯学習課の課長より説明をお願いします。

学校教育課・生涯学習課 課長

12月議会質問と答弁の内容について説明。

教育長

議会の内容について何かご質問等あったら、意見もあわせてお願いしたい。

窪田委員

通級指導教室のことについて岩崎議員から質問があり、通級指導教室の利用者が今年 232人、来年は 223 人見込んでいると答えており、これが数として多いのか少ないのか、自分も判断がつきようがない。パーセントで言うと、今年は全体の 10.4%っていうのが回答として出ているが、もし全県下の各市町村の状況と比べた時に、もしその数字が多いのか少ないのか分かったら教えていただきたい。

教育長

他の市町村については、村は違うが、通級指導教室は各市町内に小学校1校と中学校1校が原則になっている。通級指導教室の利用者のパーセンテージは概ね 4%から 6%ぐらいの間で一番多いのは 5%だと聞いている。本市の場合は 10%と高いが、これは市内に5か所通級指導教室がある影響だと思われる。例えば日川小学校で通級に通いたいが、仕事があつたりで日下部小学校まで送ることができないという方が山梨南中の距離であれば行けるというようなことで数字が高くなっていると思う。これをどんどん増やしても、人的な補充は確約されていないので、概ね市内としては今ぐらいのパーセンテージを基準に、減ったら補充するような考えでいかないと、増える一方になってしまうという話を先日したところである。

他にいかがか。

鈴木委員

遠山議員のプールの質問について、自校のプールが今3校ということで、今後この3校のプールの解体も進んでいくと思うが、その跡地として駐車場とか校庭等というように検討していく中で、他の自治体の学校でスケートボードのコースを設置したような例も聞いている。実際、学校の方でその跡地の活用について希望等が出ているのかお伺いしたい。

学校教育課長

全体的に駐車場にして欲しいという要望が一番多い。車を停めるスペースが狭すぎることである。北中については、テニスコートが狭いので、プール解体に合わせてテニスコートを拡張して欲しいと言っている。

教育長

他にいかがか。

天野委員

遠山議員から出ていた不登校の子供たちについての質問に関連して、withなどで相談支援を行っているということだが、その相談を受けるのに、保護者の方たちがどんな手続きを取って、その相談支援につながるような仕組みになっているのか教えていただきたい。あと、各月当たり、どのぐらいの件数があるのか、その相談として寄せられているのか、教えていただきたい。

内藤指導主事

件数については、withに確認し後程報告させていただきたい。

繋がり方としては、学校の方から一人一人の状態によって声をかけて、保護者の方にお

話をさせていただいているところと、保護者の方から学校や市教委に問い合わせがあって繋げるというような感じある。

教育長

よろしいか。他にいかがか。

窪田委員

糠信議員の太柵騒動についての質問について、先ほど課長が説明したように太柵騒動については、一揆には天保の一揆もあるが、山梨市に関わるというところで、中学校では一揆についても勉強するので、ぜひ地元のこういう騒動を取り上げてほしいし、学校の方にもそんなアプローチをしてほしい。市内にもう一つ山梨市の北に清水陣屋跡もあるが、その辺も看板等がどうなっているのか確認していただいて、もし古くなったり、壊れているようなことであれば、また予算もつけながら順によくしてほしいと思っている。

教育長

他にいかがか。不登校についての質問が遠山議員からあったが、全国と全県が15から20%増えている中でなんとか不登校児童生徒が7人、不登校傾向児童生徒が4人減っている状況にある。もちろん、この子たちも何とかしなければいけないが、今週中に開催される不登校の会議において、当面はその不登校傾向にある子どもたちを、何としても今年は抑えていこうということを焦点化するとともに、中学校3年生の進路が決まっても、その先がどうなってるのか、誰もわからないところがあり、とりあえず高校は行ったけど、中退してるのか引きこもってるのかわからない状況について話をしていきたいと考えている。ご承知おきいただきたい。

天野委員

今の点についてだが、今休んでいる子どもたちが昼間どういうふうに通じているのか、どこかに繋がっているのか、何らかの支援を受けているのか、本当に家に引きこもりっぱなしで友達とも会うことができていない状況なのか、その辺も合わせて捉えていくことでその子たちが、この先社会に繋がりがやすく、また繋がれる状況をどう作っていくのかということ、私たちが視点として持つことができると思うので、その辺も合わせて、みていただけたら嬉しいなと思う。

教育長

状況把握アンケートの中にはそういう項目はあるか。

内藤指導主事

毎月学校から上がってくる報告書を見ながら、各校の担当者に連絡をし、繋がっていないお子さんについては、今どういう状況なのかということを確認し、どこに繋げるのが適切なのか、カウンセラーなのか、ソーシャルワーカーなのか、担当者と相談しながら、学校の方で協議してもらい支援に繋げていくということをしている。

(3) 通学路点検について

教育長

(3) 通学路点検について、学校教育担当より説明をお願いします。

学校教育担当

通学路点検について資料に基づき説明

教育長

これまで毎年同じようなことを繰り返していたので、今年は箇所を絞ることと、経過はどうなっているのか、いつできるのか、そして無理であれば、それは他の方法があるのか、あるいは諦めるというか、もう無理なのかということで、色分けしてもらった。また、個々のものは見ていただいて、何か質問等があったら次回に受け付けたい。

(4) 義務教育学校について

教育長

資料に基づき説明

義務教育学校を前提として検討することにご了承いただいたのが10月の説明会。その後児童や生徒へのアンケートで課題や不安を把握した上で、学校でできる説明は行ったり、私も参加して子どもたちの声を聞いたりする中で、先日、八王子にある義務教育学校を視察して、今挙げられているような課題についてはおおむね改善できるだろうということで、今夜第2回目の説明会を開く予定である。新聞やマスコミに対しては、あくまでも検討について了承いただいたということていつから始めるとか、それが前提ではないということは、再三注意をしており、その点を踏まえながら今日また丁寧な説明していきたい。来年の1年間、今年度の3学期も含めて試行したり、できることを取り入れていく中で、成果や課題を踏まえ、人事や予算のこともあるので8年度からの導入ができればいいかなというビジョンは持っているが、必ずしもそれが前提というわけではない。

窪田委員

新聞によると市では前期を1年生～4年生、中期を5年生～8年生、後期を9年生としているが、一般的には4.3.2とか5.4という分け方だがその辺は本市独自の考え方等があるということか。

教育長

特に中学校の方で、進路に関してキャリア教育をしっかりとやりたいという考えで、9年生については、どこまでその前倒しができるか、例えば2年生まで全部終わるといわけではないが、少し学力の進度を早めて、ゆとりを持たせて3年生は自分の進路について経験を踏まえて考えるようなカリキュラムを組みたいというビジョンで検討しているところである。2回目のアンケートの中で、不安だとか、反対という意見が6名ぐらいあったようである。6/200人ぐらいだと思うが、その大きなものは、中学校文化というか、例えば部活を先輩と一生懸命やり遂げたいとか、2・3年生がその先輩との交流を踏まえて、勝った負けたの青春物語をやりたいとか、学園祭の後夜祭を中学生だけで楽しみたいというようなことで、この子どもたちも生徒も必ずしも小学生を排除しているわけではなく、小学生が交流できればその教室に顔を出したりとかして、ただ心情的にこの中学2、3年生だから、その中学生らしさを完成させたいということで、こういう意見が出たのではないかと校長先生が言っていた。そこは、無理して一度に交流するのではなくて、例えば5年生6年生が中学校に上がっていけば、やがて一緒にやりたいとか一緒にやりましょうよって声が出てくるから、その辺はゆっくりやった方がいいと思う。そんな意見が主な反対というか、不安の大きいところである。

解決しなければならない課題はたくさんある。例えば、上履きをどうするかとか、ランドセルをどうするんだっていうのが課題で、課題とデメリットはちゃんと分けてやらないと、デメリットというのは入れちゃったことによって、もう通年的に、これから先もずっと課題になるようなことはデメリットであって、一般的な課題というのは改善しなくてはいけないことだから、そこは整理していかないといけないということは説明したいと思う。よろしいか。

鈴木委員

学年の区切りだが、八王子の学校はどんな感じか？

事務局

4・3・2である。

窪田委員

それが一番多いかもしれない。

教育長

その辺をやってみてということになるが、中2あたりを地域学習の核にしていきたい。そこでやった経験をもとに、私は、例えば農業の方に進みたいとか、何か作るものをやりたいと進路に繋がられるようなカリキュラムをやりたいという中学校の方からの説明だった。

(5)その他

学校総務担当 L 市長査定日程について説明

教育長

他に報告が何かあるか。

事務局・委員

なし。

教育長

以上で議事を終了する。